

子育て学講座 講師養成プログラム



NPO法人
子育て学協会

イントロダクション

本講座は、「子育て学講座」の講師養成を目的としています

- 別途実技チェックに合格すれば、NPO子育て学協会と講師契約を結び、講師の業務委託を受けることが可能になります

子育て学協会のビジョンと活動の骨子

＜私たちのビジョン＞

「子育てに関わる保護者や人の成長」と
「豊かな心と言葉を持つ子どもたちの育成」
を実現し、人を大切にする社会を目指す

子育て学協会のビジョンと活動の骨子

子育ての専門家育成事業

CFC（チャイルド・ファミリー・コンサルタント）養成講座

- “発達予防学”で親子の育ち合いをサポートする専門家を育成



「WithBookプログラム」普及事業

WithBookプログラムの普及

- 子どもの心を安定させ、人格形成の基盤を整える設計された教材
- 人格形成に影響する「言葉のかけ方」を親が学ぶ教室



「子育て学」講座普及事業

- 発達予防学の入門編として、「これさえ知っておけば大丈夫」を学ぶ講座



子育て学プログラムが目指すこと

- ☆少しでも子育てが楽しくなってもらいたい
- ☆「自分らしさ」を大切にしたい子育てをしてほしい
- ☆発達予防学 = 健全な発達のための予防的観点の学びを知り、できるだけ後悔のない子育てをしてほしい
- ☆自分の成長に興味を持って欲しい
- ☆親子で育ちあう関係を楽しんで欲しい

講師の心がまえ (前提)

大人も大きくなった子ども

講師が気をつけたい 5つの“ついつい”

1. ついつい、口を出しすぎてしまう

(親が自分で考える機会を大切に)

2. ついつい、手伝いすぎてしまう

(親の達成感や挑戦意欲を大切に)

3. ついつい、なんでも与えてしまう

(便利は不便、知恵を使う機会を大切に)

4. ついつい、答えを教えてしまう

(親が疑問に向き合う機会を大切に)

5. ついつい、タイムスケジュールを優先してしまう

(進行にこだわらず時には特例
対応を大切に)

講師の心がまえ (前提)

● 親が新しいアイデンティティを獲得するのを支援する

「待つ」・・・ということの大切さ

→親が自分でやりたい（楽しい）と思い行動することが大切。
親が考え行動のステップを踏む時間を大切にする。

「見守る」・・・ということの大切さ

→「大丈夫」「OK」というメッセージを親も受け取れるように、目配り、気配りを行い、言葉かけを行う

「引き出す」・・・ということの大切さ

→親が自分の生活に取り入れ成長できるように、少しのアクションや一つの問いかけで手伝う。

講師の心がまえ (前提)

● 講師のお作法について

受講者目線で見たと時の留意点

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 服装について | ✓ きちんと見える。清潔感がある |
| 2. 基本的な言葉遣いについて | ✓ 丁寧な言葉遣い、ゆっくり、楽しそうに |
| 3. 身近に感じてもらう | ✓ 難しい言葉は使わない |
| 4. 参加されている方を好きになる | ✓ 全ての方を仲の良い友人のような気持で受け入れる |

講師の心がまえ (前提)

● オープニング

始まりの挨拶 「おはようございます」「こんにちは」

講座のタイトルを読み
「講師の●●と申します」と名乗る

アイスブレイクのコミュニケーション

<留意ポイント>

1. 挨拶では講師も頭をきちんと下げて折り目正しく
2. 集合時間には始めるが、遅れてくる人を待つ場合には、その旨を予め伝えておく
3. アイスブレイク、参加者と講師の距離を縮めるための会話
(誰もが感じること、経験すること、EX)季節、お天気、昼食のこと 等)

講師の心がまえ (前提)

● 導入

～はじめに～と子育て学の目的とGoal

<留意ポイント>

1. 1回目では丁寧に少し時間をかけて説明
2. 2回目～6回目では「毎回お話していますが・・・と枕言葉をつけ問題意識を
3. 導入部分については、信念として語れるレベルに理解し自分の言葉で語れるように落とし込む

はじめに

なぜ発達予防学なのか① 現代の若者が抱える問題から

現代の若者・小中高教育の問題は、発達心理学の観点でみると
幼児期の子育ての問題と必ず繋がっているとと言えます

問題点としてよく語られている数値

| | |
|-------------------------|---|
| フリーター143万人 (H30) | 小中高の学校における暴力6万件 (H29 ※H9=2.8万件) |
| ニート71万人 (H30 ※H23=60万人) | 小中高不登校件数18.2万人 (H29 ※H22=17.5万人) |
| 引きこもり61.3万人 (H30内閣府定義) | 児童相談所虐待相談13.2万件 (H29 ※H25=7.3万件、H10=0.7万件) |

問題点としてよく語られている言葉

無気力 自立していない 積極性が無い 社会性の欠如
 コミュニケーション力が弱い 学ぶ意欲・主体性の低下

はじめに

なぜ発達予防学なのか① 現代の若者が抱える問題から

現代の若者・小中高教育の問題は、発達心理学の観点でみると
幼児期の子育ての問題と必ず繋がっているとと言えます

問題点としてよく語られている数値

フリーター143万人 (H30)

小中高の学校における暴力6万件 (H29 ※H9=2.8万件)

ニート71万人 (H30 ※H23=60万人)

小中高不登校件数18.2万人 (H29 ※H22=17.5万人)

引きこもり61.3万人 (H30内閣府定義)

児童相談所虐待相談13.2万件
(H29 ※H25=7.3万件、H10=0.7万件)

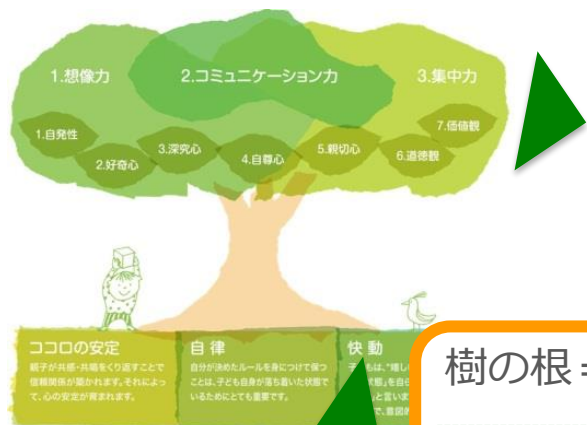
問題点としてよく語られている言葉

乳幼児期の子どもたちはみんな持っている

はじめに

なぜ発達予防学なのか② 現代の子育て環境から

現代子育ての一番の問題は、
 幼児期に「樹の根 = 人格形成の基盤」が整いにくく、
 発達課題の獲得に支障をきたしかねないこと



スキルだけに偏った早期教育の状況
 1~6歳の47.4%が習い事 水泳、体操、通信教育、英会話・・・

樹の根 = 人格形成の基盤の状況

心の安定に影響の大きい
 人的環境が乏しい

- 核家族化、兄弟数低下
- 地域コミュニティの不活性化

子どもらしく遊ぶ
 余裕が少ない

- 家にいる時間は5年間で1時間前後減少
- 2割のママは、「早期から文字や数を教えるべき」

生活リズムの乱れ

- 46%は21時以降就寝

本来は親子のコミュニケーションの質向上により目を向けるべき

主体的に探求し、何かを獲得する余裕の少ない子ども達

成長への悪影響だけでなく、集中力欠如、衝動行為とも関連

はじめに

なぜ発達予防学なのか③ 人格形成の基盤の3要素から

私たちは子どもの「根」を整え“自ら伸びるチカラ”を育むことが
 青年期の様々な問題の予防、未来の日本を背負う人材育成に繋がると考え、
 発達予防学の観点から【**幼児期からのアイデンティティ教育**】の普及活動をしています。



人格形成の基盤3要素を整える、「**幼児期からのアイデンティティ教育**」

自分らしさが備われば、子どもは自ら伸びる

心の安定

親子が共感共鳴を繰り返し信頼関係を
 築くことで育まれる
 また、人的環境のバランスを取ることが大切

快動

大好きな興味をもったことを繰り返すこと
 子どもは「快」として心に刻んでおり、
 自分らしさの形成に繋がる

自律

「やりきる」「挑戦する」など人としての
 姿勢の部分 生活や遊びを通じて身近な
 大人が地道に関わることで獲得できる

子育て学講座とは

目的

子育てを通し大人も育つ「育ち合う家族づくり」

GOAL

子育てのヒントが分かり楽しみになっている



プログラム概要

子育て学プログラムで目指すこと

- 新しい知識の提供・・・発達予防学に基づく子育ての知識
- 子育ての体系化・・・今までやってきたことや、沢山の情報の整理
- すぐに役立つ・・・ワークを用いて自身の子育てに活かす



子どもの基盤となる、「心の安定」、「快動」、「自律」を整える支援
= 間接的な子育て

親がやりたくなることが大切 = 親への「動機づけ」「親への意識づけ」の場

プログラム構成

複数回の講座の中で、1回1回での学びでの満足度を高め、全6回を通して学べることを理解しやすくするため構成を揃えています。

第1回～5回、6回単独ver.のコンテンツの構成

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-----------------|-------------|--|
| 60分 ～ 70分 | 問いかけ | 動機づけの問いかけ |
| | 子育ての知識① | 何が大切かどうして大切かの理解を深める |
| | 子育ての知識※② | 行動に移すためのポイントの整理等 |
| | まとめ | 覚えておいて欲しいことを「意識づけ」 |
| 20分 ～ 30分 | チャレンジワーク | 参加している他のメンバーと共有し、アドバイスを受けながら自分の子育てを考える |
| | チャレンジワーク宿題編 | より自分の子育てに踏み込んだ（個別事情に入り込んだ）ワーク |

第6回振り返りver.は意識づけしたいことをテーマを発達予防学と結びつけておさらいをする

プログラム構成

子育て学講座

人格形成の基盤3要素を整える、
「幼児期からのアイデンティティ教育」

心の安定

快動

自律

第4回
子どもとの
〈対話〉

第1回
子どもの遊び

第5回
子どもとの
〈徳性〉

第2回子どもとの〈基盤〉

第3回自分の〈基盤〉

第6回子育てを楽しむ

第1回目「子どものらしさの育み方」 子どもの〈遊び〉

子どものアイデンティティの芽について考えてみる

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-------------|-------------|-----------------------------------|
| | はじめに | |
| 60分～ 70分 | 問いかけ | 子どもの気持ちになってみる |
| | 子育ての知識① | 子どもにとって遊びとは、そしてその大切さ |
| | 子育ての知識※② | 大人が陥りやすいこと、心がけたいこと |
| | まとめ | 子どもの自発的な遊びは大切にしたい 「アイデンティティの芽」 |
| 20分～ 30分 | チャレンジワーク | 子どもの快動への意識づけ、探求を深めるための遊びの提案を考える |
| | チャレンジワーク宿題編 | 子どもの快動に興味を持ちたくさん発見できる親になる |

第2回目「子どものしつけと心の整え方」

子どもの〈基盤〉

伸びる子どもを創るために大切な基盤について考えてもらう

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-----------------|-------------|-------------------------------------|
| | はじめに | |
| 60分 ~ 70分 | 問いかけ | 子どもにどんな期待をしているか |
| | 子育ての知識① | 子どもが伸びるために必要なこと |
| | 子育ての知識※② | 子どもが伸びるための人間関係を整える |
| | まとめ | しつけの目的は「自律」 信頼できる人的環境を整えること⇒心の安定 |
| 20分 ~ 30分 | チャレンジワーク | 子どもの7つのパイプを考え、増やすためにできることを考える |
| | チャレンジワーク宿題編 | 家族の自律ルールを考える |

第3回目「ストレスを減らし子育てを楽しむ」 自分の〈基盤〉

子どもに関わる大人として自分らしい人生を生きるための基盤を考えてもらう

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-----------------|-------------|---------------------------------------|
| | はじめに | |
| 60分 ～ 70分 | 問いかけ | 自分の自律状況を考えてもらう |
| | 子育ての知識① | 自律は自制ではなく自分らしく |
| | 子育ての知識※② | 自分を理解し受容する |
| | まとめ | 大人が「らしさ」を活かし、自分らしく生きている姿を見せることが大切 |
| 20分 ～ 30分 | チャレンジワーク | 自分の自律ルール、取組みたいこと、好きなことを生活に取り入れるために考える |
| | チャレンジワーク宿題編 | 自分の7つのパイプを考える。現在の自分の行動を客観視する |

第4回目「子どもとの関係性の作り方」

子どもとの〈対話〉

子どもと質の高いコミュニケーションを考えてみる

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-----------------|-------------|---|
| | はじめに | |
| 60分 ~ 70分 | 問いかけ | 子どもとのコミュニケーションの振り返り |
| | 子育ての知識① | 子どもをやる気にするための「動機づけ」を学ぶ |
| | 子育ての知識※② | 子どもを伸ばすための「意識づけ」を学ぶ |
| | まとめ | 言葉で言われたことは「意識」され、そのような「人」になる。「大切にしたいこと」を伝える |
| 20分 ~ 30分 | チャレンジワーク | 子どもにやる気になってもらうための「動機づけ」をアドバイスしあう |
| | チャレンジワーク宿題編 | 自身の子どもへ「意識づけ」を言葉にしてみる |

第5回目「子どもの個性を理解する」 子どもの〈徳性〉

子どものらしさを活かすことを考えてみる

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-------------|-------------|--|
| | はじめに | |
| 60分～ 70分 | 問いかけ | 子どもの強みと弱みを考える |
| | 子育ての知識① | 子どもの徳性の見方。観点を知る |
| | 子育ての知識※② | 子どもの徳性はポジティブに捉える |
| | まとめ | 子どもの徳性はすべてポジティブに受け入れる マイナスのレッテル貼りはしない |
| 20分～ 30分 | チャレンジワーク | 弱みと感じていたことをポジティブに言い換える練習。他のメンバーからアイデアをもらう。 |
| | チャレンジワーク宿題編 | 徳性シートの観点で自分の子どもを考えてみる |

第6回目「これだけは知っておきたい子育てのポイント」子育てを<楽しむ>

ステキな家族を作るために参加者である自分を知る（単独テーマver.）

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-------------|------------|---|
| | はじめに | |
| 60分～ 70分 | 問いかけ | 自分の子どもの頃を思い出す |
| | 家族のライフサイクル | 家族にもステージがあることを知る |
| | パパママ心理 | パパとママの違いを知る |
| | まとめ | まずは大人が自分や自分たち自身のことを知り、家族のルールを決めていく |
| 20分～ 30分 | チャレンジワーク① | 家族全員が健やかに人生を生きるために自分が取り組んでみたいと思うことを整理する |
| | チャレンジワーク② | 子育てを楽しむ家族づくりの工夫を考えてみる |

※第六回目として「シリーズ振り返りver.」（第1回～第5回のポイントをまとめたもの）もございます。

第6回目「これだけは知っておきたい子育てのポイント」子育てを<楽しむ>

意識づけしたいことをテーマを発達予防学と結びつけておさらいをする

| 時間 | 項目 | 目的・内容 |
|-----------------|---|--------------------------|
| 各10 ～15 分 | 子どもの自発的な遊びは大切にしたい「アイデンティティの芽」 | 大切にされないとうなるか |
| | | どんなことをするといいか |
| 各10 ～15 分 | しつけの目的は「自律」 信頼できる人的環境を整えること⇒ 心の安定 | 大切にされないとうなるか |
| | | どんなことをするといいか |
| 各10 ～15 分 | 大人が「らしさ」を活かし、自分らしく 生きている姿を見せることが大切 | 大切にされないとうなるか |
| | | どんなことをするといいか |
| 各10 ～15 分 | 言葉で言われたことは「意識」され、 そのような「人」になる。「大切に して欲しいこと」を伝える | 大切にされないとうなるか |
| | | どんなことをするといいか |
| 各10 ～15 分 | 子どもの徳性はすべてポジティブに 受け入れる マイナスのレッテル貼りはしない | 大切にされないとうなるか |
| | | どんなことをするといいか |
| | 子育てのためのファミリービルディング | 子育てのためのファミリービルディングという考え方 |
| | 感想の共有 | 一緒に学んだ仲間と共有 |

個別対応が必要な親への対応

- 無理に話かけずに笑顔で対応をする
- 講座の中でいい悪いではないことを伝えつつ、様子をうかがう
- できないのではなく、知らないだけと伝えながら見守る
- ワークをしながら様子を見守る
- 個別に話すことは積極的には行わず、回数を重ねてから話す
(他の人に報告をし、相談する)
- 自分一人で抱えずに他の先生のアドバイスを受ける

実技チェックの受け方

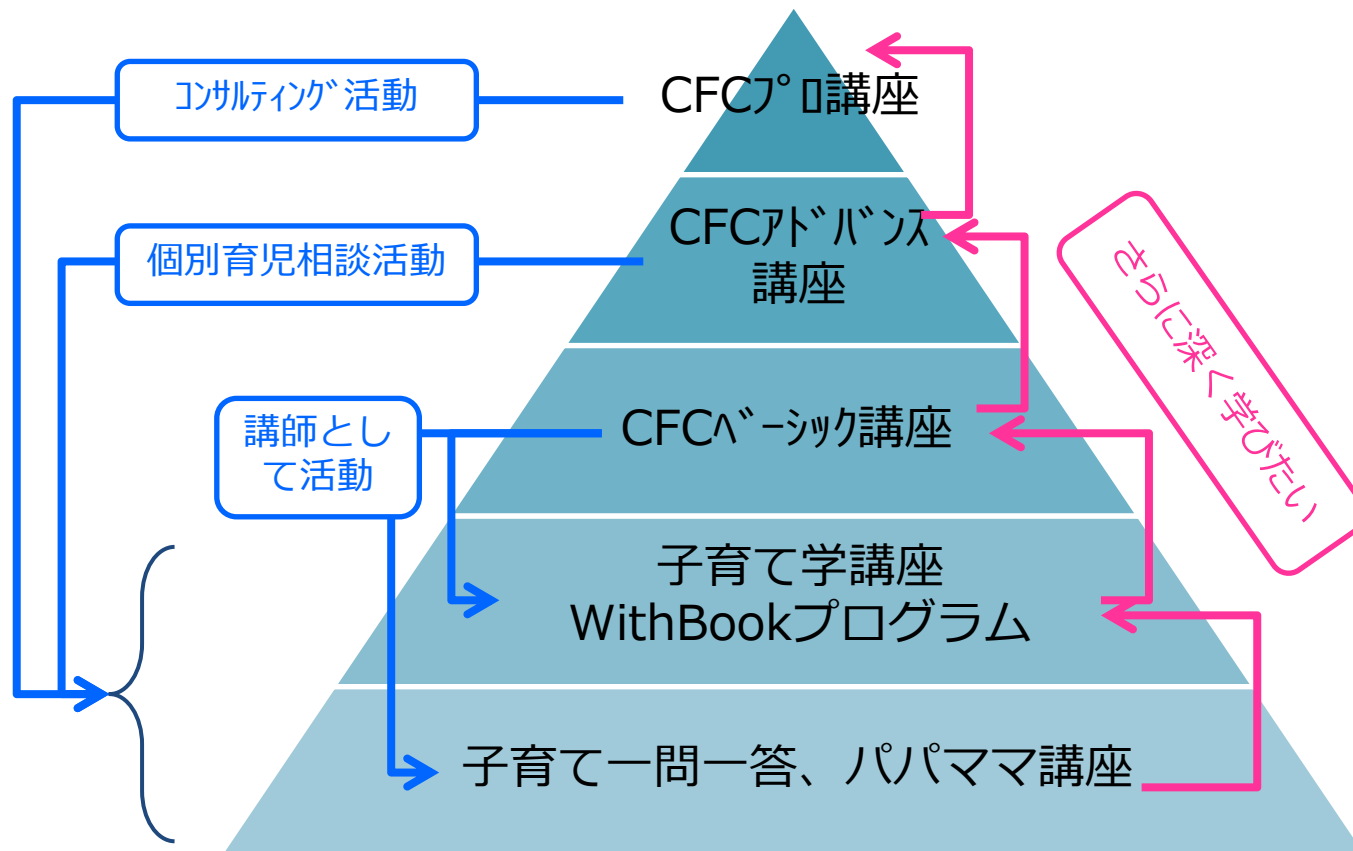
実演ロープレで講座確認をさせていただきます。

全6回のコンテンツの中から好きな回を一つお選びください

※ご自身で勉強いただいた上で、確認希望日（2~3日程ほど）を事務局までご連絡ください。確認者とのスケジュール調整をします

(参考) 子育て学の普及構造

- 学び、教える連鎖を作りたい



お疲れ様でした！

みなさんの成長の機会になることを
願っています！